ボーリング柱状図

調査名	平成28年度 二級河川 本川水系 楠谷川　災害関連緊急砂防事業に伴う業務委託（その２）
事業・工事名	

ボーリングNo

シートNo

ボーリング名	Ｂｏｒ．Ｎｏ．２	調査位置	竹原市竹原町			北緯	34° 20’ 17.2826″
発注機関	広島県西部建設事務所東広島支所			調査期間	平成 28年 10月 5日 ～ 28年 10月 12日	東経	132° 55’ 05.3006″
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	T.P. 27.00m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 7°	使用機種	試錐機	東邦Ｄ－1	ハンマー落下用具	自動落下
総掘進長	7.20m								エンジン	ヤンマーＮＦＤ－１２	ポンプ	東邦ＢＧ－３

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事		孔内水位(m)／測定月日
1	25.50	1.50	1.50		砂質粘土	暗褐	緩		粗砂を含有する粘土。 表層20cm程度は腐葉土。 所々に径5mm未満の小礫を含む。		10/12 1.20
	25.15	0.35	1.85		シルト	褐灰	極緩		含水量が多い。 数mmの小礫をわずかに含む。	第四紀	
2	24.80	0.35	2.20		玉石	褐			花崗岩の転石。比較的硬質。		
3					礫混じり粘土質砂	灰	中		粗砂主体の砂に径40mm未満の礫と粘土分を含む。 比較的締まっている。 深度3.9m付近の転石は泥岩で比較的硬質。		
4	22.80	2.00	4.20								
5					花崗岩	褐～褐灰			粗粒花崗岩（中硬岩以上）。 コア長10～40cmの棒状コア主体。 コア肌は滑らかである。 ハンマー打診で金属音を発する。	CH	
6											
7	19.80	3.00	7.20								
8											
9											

標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値 0 10 20 30 40 50 60
1.15	1	2	2／12	5／32	5
1.47					
2.25	6	6	3	15／30	15
2.55					
3.15	2	4	3	9／30	9
3.45					
4.15	3／5			3／5	18
4.20					

原位置試験 深度 (m)	試験名および結果

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進月日
				10／7
				10／11